

【企業動向調査（建設業）概況】

2026年1月～3月期の企業動向調査（市内建設業39社）を行った結果、業況判断指数D Iは▲ 15.8ポイントとなりました。

前期調査結果（2025年10月～12月：21.1ポイント）と比較して36.9ポイント悪化しました。

その他経営上の問題については、「原材料や部材の高騰」「原材料不足」「受注の減少」などの意見がありました。

1 業種別の業況判断前期比D I

業種	前期比D I	前期との差
土木関係	▲ 75.0	▲ 125.0
建築関係	16.7	▲ 8.3
電機関係	▲ 33.3	▲ 33.3
水道関係	33.3	▲ 16.7

2 業種別の次期予想D I（2026年4月～6月）

次期予想は▲ 52.6ポイントで、今期調査結果(▲ 15.8)より、36.8ポイント悪化する予想となりました。

業種	次期予想D I	今期との差
土木関係	▲ 75.0	0.0
建築関係	0.0	▲ 8.3
電機関係	▲ 66.7	▲ 33.4
水道関係	▲ 100.0	▲ 133.3

3 経営上の主な問題点

	問題点	割合
1位	原材料・仕入品単価の上昇	84.2%
2位	原材料不足	57.9%
3位	受注の減少	47.4%
4位	人材不足（技術者等質的なもの）	36.8%
5位	労働力不足（量的なもの）	26.3%
5位	技術力の不足	26.3%